

## 「岡本環境保全基金」の原資を寄付された岡本氏への感謝状贈呈

2025年、天理市は、(株)アートマン計画事務所(岡本賢一社長)から「天理市ふるさと応援基金」として1,000万円の寄付を受けました。その寄付金の目的は、寄付者の意向により、天理市および周辺域の環境保全活動とその適正な利用に関する活動に資することとされています。そこで天理市は「天理市環境保全活動補助金交付要綱」を策定し、NPO法人環境市民ネットワーク天理と天理市環境連絡協議会の2団体にその運用と活用を促しました。

そこで当法人は、2025年5月24日、天理市文化センターで、ご寄付いただいた岡本賢一氏ご夫妻への感謝状の贈呈をおこないました。なおこの贈呈式は、天理市環境連絡協議会と共同で実施するとともに、天理市の「応援基金」で購入した大型トイレカーに対する感謝状の贈呈も兼ねて実施されました。



岡本賢一氏ご夫妻に対して感謝状を贈呈した当法人と(左)、天理市環境連絡協議会(右)。



# 市民が提案する『環境マニフェスト・天理2025』

～ 「里・山 資本」をいかした持続可能なまちづくりをめざして～

NP0 法人環境市民ネットワーク天理

提案日 2025 年 10 月 3 日

## ◇ 提案にあたって

私たち「環境市民ネットワーク天理」は、天理市における環境保全や啓発活動について、市内の事業所や天理市と協働して様々な事業を実施してきた NP0 法人です。

本ネットワークは、2005 年から天理市長選挙ごとに「環境保全を重視する市民団体」として「環境マニフェスト」を作成し、市民参画型の環境政策の実現を天理市長選挙候補者に提案してきました。

(2021 年はコロナの為、提案できませんでした)

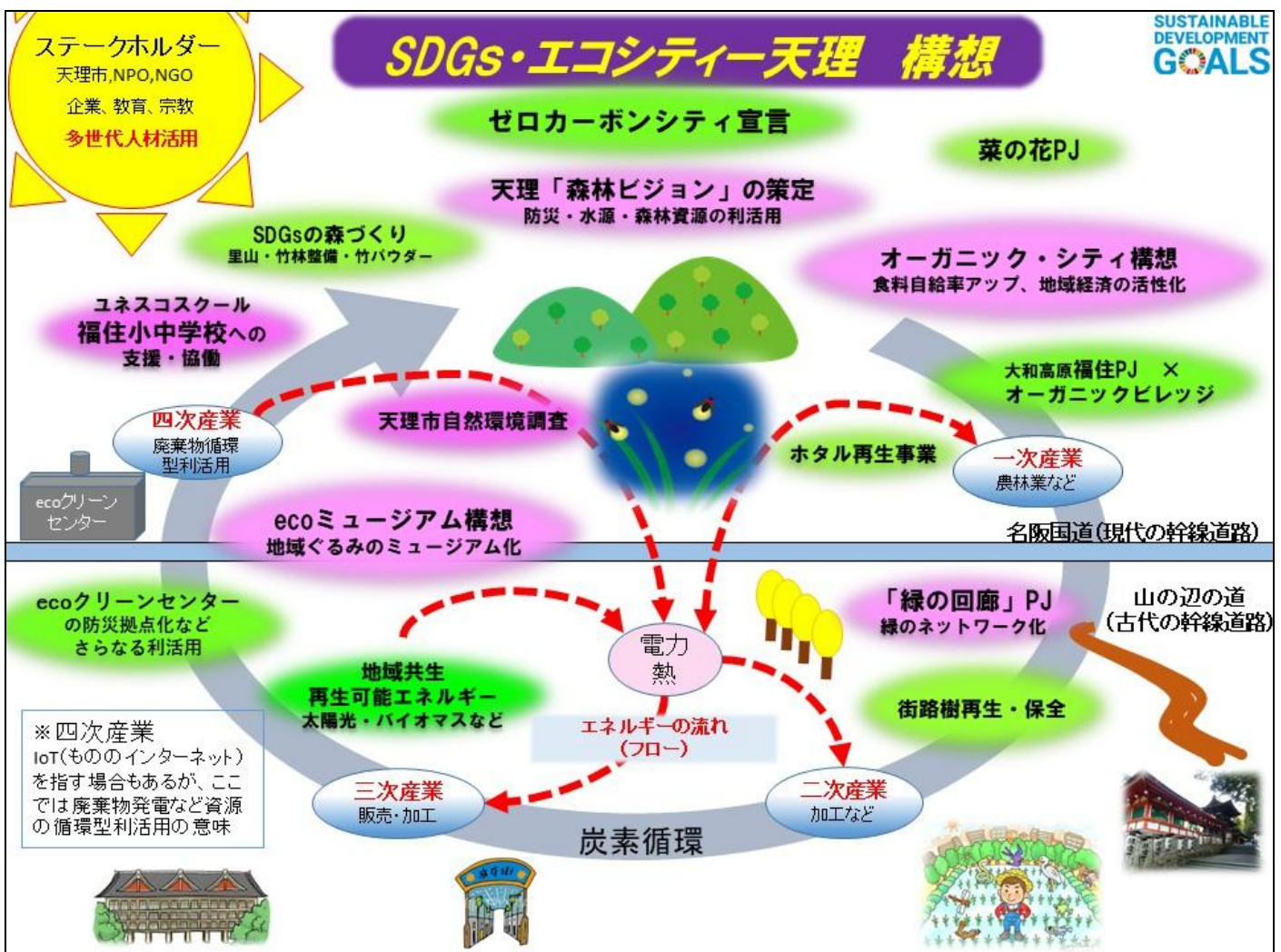
これまで、本ネットワークが提案した「マニフェスト」を踏まえたうえで、市長の就任から市長選までの環境行政の進捗状況などについて評価も行ってきました。

今回、秋に予定されている市長選挙に向けて、天理市長候補者に対し、本ネットワークが作成した「環境マニフェスト・天理 2025」を提案します。今回提案するマニフェストは、「里・山資本」(地域資源)をいかした持続可能なまちづくり「SDGs・エコシティ天理」構想をテーマとしました。

今年の猛暑は、温暖化対策に待ったなしであることを実感させるものです。また、日本中で問題になっているクマなどの獣害も、放置林問題などが根底にあり、私たちにとって他人事ではありません。

今回の市長選挙をきっかけに、市民が町づくりや環境問題に関心を持ち、市民・事業者・行政の協働・参画型で環境モデル都市が実現することを強く期待します。

## 政策連携図



## 『SDGs・エコシティ天理』構想

現  
状  
課  
題

- ① ゼロカーボンシティ宣言実現のための具体策。
- ② 新クリーンセンター（熱電併給型）が完成。さらなる利活用。
- ③ 放置林の増加による、森林機能の低下、獣害、景観への悪影響。
- ④ 「オーガニックビレッジ宣言」の持続可能な事業化。農業の後継者不足、耕作放棄対策。食料自給率アップと地産地消の推進。原風景の保全（特に、山の辺の道沿い、大和高原など）
- ⑤ 県・国道の街路樹の強剪定。市管理街路樹の巨木化・枯損木問題。駅前広場植栽の問題など。

政  
策  
提  
案

2021年天理市は、『ゼロカーボンシティ宣言』（2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す地方公共団体）を行った。その目標達成のために「天理エコシティ構想」を提案します。

熱電併給型ゴミ処理施設「やまと eco クリーンセンター」は、名阪国道と山の辺の道が交差する地点にあり、広域的に人・モノ・技術も集積しやすい交通の要衝地でもある。市民の環境問題を啓発する施設も充実し、災害時には熱・電力を自立的に供給でき、エコシティの中核地となる場所である。

### 提案1「まほろば・eco ミュージアム」構想 （別紙・資料1）

#### 概要）

- ・地域全体をミュージアム化し、リアルな体験の中で人と自然・環境、歴史や文化などを学ぶ。
- ・やまと eco クリーンセンター、天理参考館、トレイルセンター、芸術文化村、コフフン、山田教育キャンプ場、地域の商業施設、物産館など既存の施設、プログラム（ソフト）を活用する。
- ・ユネスコスクールに認定された福住小中学校への支援を実施する（別紙・資料2 政策提案）
- ・天理市の自然環境調査を実施する（別紙・資料3 政策提案）

#### 期待される効果

SDGs・環境・生涯教育の場とコンテンツの提供、観光振興への寄与など。

### 提案2「緑の回廊」プロジェクト（別紙・資料4、5）

#### 概要）

天理市に点在する社寺林（鎮守の森）の保全と街路樹・都市林のネットワーク化。

特に、玄関口である駅前広場「コフフン」～街路樹～天理教本部境内～天理大学～布留川～石上神宮境内など～「山の辺の道」を中心に、市内に点在する「社寺林」等を結ぶことを想定する。

現在、街路樹は巨木化・枯損木が目立つが、適切でコストパフォーマンスの高い管理を行う。

#### 期待される効果

緑陰・気温変化の緩和、防災、癒し、観光・集客、カーボンニュートラルなど。

### 提案3「天理・森林ビジョン」の策定

#### 概要）

東部山間地は、緑のダムとして価値は高い。しかし、放置林増加による災害時の風倒木被害（幹線道路・住宅沿いなど）、獣害、景観の悪化などが懸念される。森林ビジョンの検討を行い、森林保全・防災とゼロカーボン（ニュートラル）を目指したバイオマスの利活用を目指す。

#### 期待される効果

バイオマス資源有効利活用によるカーボンニュートラル、防災、景観保全、獣害対策など。

### 提案4「オーガニック・シティ」構想

#### 概要）

福住・山田・長滝地区の「オーガニックビレッジ」、山の辺の道「菜の花プロジェクト」をモデル事業とし、天理市全体に広げる。行政主体事業から自立型民間事業化・人材育成支援に移行をめざす。

「イチカプラスポイント」との連携を深め、地域内経済循環をさらに強化する。

#### 期待される効果

地域食料自給率アップ、カーボンニュートラル、経済・雇用創出、景観保全、観光・集客など。



## 環境問題を学びながら資格を取得しませんか？ 第4回 まほろばエコロジー講座受講生募集！

大水害・山火事・農産物の不作による価格上昇など「気候変動」が私たちの生活に顕著な影響を及ぼすようになってきました。地球のいまを知り、住み続けられる地球を未来の子もたに残すために「いまこそ学びましょう！」

NPO法人環境市民ネットワーク天理では、地域で環境を守る人材の育成を目指して、2022年から「まほろばエコロジー講座」を開催しています。この講座では、当法人がこれまで培ったネットワークを活かして選出した講師陣により、環境問題取り組みの歴史、生物多様性、気候変動、自然エネルギー、食物問題、リサイクル、企業活動と環境問題等を体系的に学び、検定試験の結果により「まほろば環境市民」の資格を認定しています。これまで40名を認定することができました。



授業風景

第4回  
まほろばエコロジー講座  
が始まります。  
受講受付中！

日時：2025年9月24日（水）から2026年1月14日（水）までの15回（毎週水曜日14：45～16：15）  
座学とフィールドワーク（検定受験は自由）  
場所：天理大学 杉之内キャンパス

受講料：毎回資料代300円  
（受講するには、環境市民ネットワーク天理へ入会していただく必要があります）  
＊資格検定を受ける場合は検定料3,000円が別途必要です  
＊ご都合がよい時間に動画配信でも受講できます



メールをお送りください。折返し詳細をお送りします



お申込み・問い合わせ  
kankyoshimintenri@gmail.com

## 2025年5月1日 やまとecoグリーンセンター・リサイクルセンターがオープンしました



やまとecoグリーンセンター  
（焼却施設）



写真はHPより使用しています

- ・3階 ごみミュージアムでは楽しみながら環境について学ぶことができます
- ・4階にはごみ焼却の排熱を利用した温浴施設とフィットネスエリアがあります

やまとecoリサイクルセンター  
（資源リサイクル施設）

ごみの持ち込み、見学の申し込みもHPに掲載



写真はHPより使用しています

- ・粗大ごみや不燃ごみ、資源ごみのリサイクルをしています
- ・リサイクルの様子を見学できます
- ・ワークショップやリサイクルイベントも開催しています

やまとecoは、県内市町村で合同運営しています（大和高田市＊・天理市・山添村・三郷町＊・安堵町・川西町・三宅町・上牧町・広陵町・河合町＊）＊は焼却事業のみで利用リサイクル事業は地元で行っています

## NPO法人環境市民ネットワーク天理は、グリーンセンター3階「ごみミュージアム」コンセルジュ業務の委託を受けています

ごみミュージアムでは、工場見学ができるファクトリービジョン、大和の四季を鑑賞できるシアター、クレーン・シュミレーターゲーム、キッズサロン、コミュニティーギャラリーなどで楽しく学べます



写真はHPより使用しています



## 天理市福住地区におけるヤマトサンショウウオの保護活動

天理市立福住小学校・中学校 生物部顧問 堀川 淳司

天理市立福住小学校・中学校生物部は、絶滅危惧種ヤマトサンショウウオ保護の取り組みを進めてきた。福住地区における保護活動は、学校、地域、行政、企業、専門家が連携しながら行っている。またサンショウウオの専門家である佐藤孝則理事長を中心に、「環境市民ネットワーク天理」のメンバーの皆様には、ヤマトサンショウウオの保護だけでなく、里山の保全に向けた多くのご指導とご助言をいただいている。毎年、福住小中学校では「ヤマトサンショウウオ学習会」を開催し、全校児童生徒がヤマトサンショウウオに親しみ、理解を深める機会を設けている。また生物部も参加するトラップ調査を年に3回、生態調査を年に6回実施している。さらに「ヤマトサンショウウオ関係者会議」を毎年開催し、関係者の情報共有と意見交換の機会を設けている。

- ・2020年度 児童が探索を継続。発見に至らず
- ・2021年度 教職員が未受精卵を発見
- ・2022年度 生物部員が受精卵と成体オスを発見  
(現在、赤目滝水族館で飼育中)
- ・2023年度 生物部員が未受精卵と成体メスを発見  
(現在、赤目滝水族館で飼育中)
- ・2024年度 生物部員が未受精卵と成体オスを発見



<ヤマトサンショウウオ>



<トラップ設置作業>

<これまでの経緯は以下の通りである>

- ・2019年度 児童が探索を開始 発見に至らず



<生息地での植樹作業>



<生き物講演会>



<トラップ調査>



<生物部員と佐藤理事長>

### 5月18日(土)「布留川清掃」

天理市環境連絡協議会 共催

53人参加。天理市連絡協議会中畠会長、市長が挨拶し、市役所周辺の布留川を4班に分かれて清掃を実施した。今年は、ホタル観察会のために、天理教本部前から和楽橋までの草刈りも実施した。

### 6月8日(土)「ホタル観察会」

天理市環境連絡協議会 共催

19時受付開始、19時半開始。約30名の方が参加しました。

布留交差点・ファミリーマートを越え、豊井町に入っすぐの小道に入り、橋の上からホタルを観察し、川を下りながら館から和楽橋周辺で60匹程度、天理教本部前緑地帯で30匹ほどのホタルを観察しました。



### 8月27日(日)「リバーウォーキング」

天理市環境政策課・環境連絡協議会 共催

天理教本部前(真南通)布留川河川敷で、晴天のもと8家族28名(子供19名)の参加で川の生き物観察を実施しました(講師・天理高校・川波)。渇水の影響で水は少なかったのですが、水温は例年よりも低く、採集生物は次のとおりです。

水質階級 **全体的な水質階級は、Ⅱでした。**

【Ⅰ きれい】オニヤンマ(3齢)

【Ⅱ 少し汚れている】カワニナ多数、スジエビ・ヌマエビ多数、コシボソヤンマ数匹、カワトンボ、ニンギョウトビケラ、タニカゲロウの仲間、ハグロトンボ(成虫)数匹

【Ⅱ～Ⅲ】カワムツ・オイカワ多数

【Ⅲ 汚れている】タニシ、ミズムシ

【その他】ツチガエル。ドンコ、ヨシノボリ





# 天理駅前広場「コフフン」植栽再生プラン（案） 2025, 8月1日段階

「山の辺の道」と、天理市の古墳の数は、全国市町村のトップレベルとされています。  
その玄関口の天理駅に降り立った時、緑豊かで古墳をモチーフとした広場を通り抜けて街のなかに、そんなイメージを想定して植栽再生とメンテナンス方法を提案します。

現状) 現在植栽されている樹種の中には、今場所に適さないものが多い。  
施工時の植栽土も表土は真砂土で、深土は小石交じりの残土で、施肥管理も十分でなく肥料分を含んだ土壌が形成されていない。その結果、樹木の枯死、枝枯れ、葉の黄化現象が顕著である。

## 再生方法・手順)

- ①土壌改良 2025年 2月～  
エアレーション（穴あけ）、炭、木・枝・竹チップなどを投入  
施肥（鶏糞、苦土石灰、乾燥菌体肥料など）
- ②適正な剪定（自然樹形、強剪定は避ける） 3月  
最小限の透かし剪定、徒長枝・下枝・枯れ枝の除去（通行場所は地上2.5mまで除去）。  
剪定枝・落葉などは植栽樹根元に置く（自然分解・腐葉土となる）
- ③不適樹種、枯損木、衰弱木の撤去、 3月～？
- ④植栽マス（ツリーサークル）のフタを撤去 4～7月（完了）
- ⑤灌水→高温・乾燥時期の7～9月ごろまでは芝生地、ツリーサークルは必要
- ⑥樹種変更・植栽 ⇨ 今後検討（2025年9月以降？）  
モンベル入口・バショウ（5月）、アベマキ8本（3月）

植栽木候補) 乾燥・照り返しに強く、緑陰を提供し、花・黄葉・紅葉など付加価値のある種類  
アベマキ、ハナミズキ、サルスベリ、ナンキンハゼ、イチョウ、シラカシ、ウバメガシ、ヒラドツツジ、ゲッケイジュ、オリーブなど

## コフフン植栽調査結果

(2025, 5月段階、天理高校理研部・園芸部)

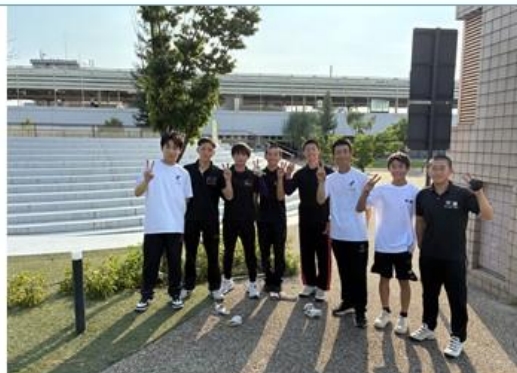
樹 種	平均のダメージ (無傷0←→10 枯死)	対策
ホオノキ	1.0 (枯死 1本)	→ 樹種変更
ハンノキ	1.0 (枯死 1本)	→ 樹種変更
ウメ	8.5 (2本)	
カゴノ木	6.5 (3本)	→ 樹種変更
ウリハダカエデ	9.8 (3本) 2本枯死、1本萌芽→	樹種変更
ビワ	5 (2本) 1本枯死	
イチイガシ	3.8 (4本)	→ 樹種変更
シラカシ	4 (5本)	→ 一部 樹種変更
ジンダイアボノザクラ	4 (3本) 1本枯死→	一部 樹種変更
カツラ	6.5 (2本) 1本枯死→	一部 樹種変更
トチノキ	4 (4本) 1本枯死→	一部 樹種変更
イロハモミジ	3.8 (5本)	→ 一部 樹種変更
アカガシ	2.4 (1本)	→ 樹種変更
ウメ	3 (4本) 2サルスベリ	2 (2本)
ヤマモモ	2 (3本)	→ 剪定方法検討
シダレウメ	1 (1本)	
シダレヤナギ	1 (1本)	
タチバナ	1 (2本)	
ネズミモチ	1 (5本)	
センベルセコイア	0 (2本)	
ハナミズキ	0 (1本)	
イチョウ	0 (7本)	
ナンキンハゼ	0 (4本)	

平均ダメージ  
3.3 (10段階)  
枯死率: 11% (11/81)

2025,5,31 入口前で枯死したハンノキを撤去し、バショウを植栽しました。また、付近のトチノキのコンクリート製ツリーサークルを撤去・通気性を確保し、剪定枝を鳥の巣状に編みこみ、竹チップなどを敷き詰めました。(施工「大地の再生の会」)



2025,6,18 天理高校軟式野球部員の協力で、コフフン全体のコンクリート製ツリーサークル数十カ所を撤去しました。その後、通気性・通水性を確保するため竹チップなど敷き詰めました。(施工「K' S工房」)





# 2025全国コットンサミットin天理

綿の魅力、可能性の広がりを見て、聴いて、考え、体験してみませんか？



## 日程・場所〈1日目〉

△11月15日（土）10時～/9時20分開場

場所 天理市民会館（やまのべホール）

内容 全国で綿花にかかわる関係者の発表、綿の種取りや、糸紡ぎ、機織りなどの体験コーナー、各種団体の展示及び販売ブース、キッチンカー、飲食物販売

費用 無料

申込み 不要

問合わせ

2025全国コットンサミットin天理実行委員会事務局  
〒632-8555 奈良県天理市川原町605番地  
天理市 農林課（担当：岡島・明石）  
Tel 0743-63-1001（代表） FAX 0743-62-2880  
Email [nourinn@city.tenri.nara.jp](mailto:nourinn@city.tenri.nara.jp)



☆会場には駐車場がありません。ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。

## 日程・場所〈2日目〉

△11月16日（日）8時20分（天理駅前出発）

場所 市内の各会場をバスで回ります

内容 現地見学会。綿花畑の見学、天理大学附属天理図書館や同天理参考館（博物館）にて綿に関する特別展示の見学など。

費用 無料（定員あり）

申込み 右QRコードから申込みください。



コットンサミットの  
詳細及び申込み  
はこちら



## 「出前・環境教育・メニュー」

ー 地球は大きな実験室 ー

### 1、ミニ生態系作り

- ① 水槽で身近な生き物の飼育
- ② 容器で野菜栽培 など

### 2、野外観察・調査

- ① 校庭・周辺の観察
- ② 川の観察
- ③ 森の観察
- ④ 身近な自然や文化・歴史を調べよう

「教室から野外へ、そして地球環境を考えよう」  
（出来るところからはじめてください。）



### 3、環境問題を学ぼう

キーワード)

地球温暖化、気候変動  
ゴミ問題（プラスチックゴミなど）  
エネルギー問題、種の絶滅、水など

### 4、解決方法を考えよう

自然再生エネルギーなど

## 【広告募集】

会費5口（5000円）以上、  
会報に広告を1年間掲載（名刺サイズ、JEPG形式、詳細応相談）



もっと暮らしにやさしいエネルギー

ア・マ・テ・ラ・ス

ポータブルなソーラー&電源を日常にもキャンプにも使って非常時にも安心。楽しく備えよう！

〒633-0001 奈良県桜井市三輪341-16

TEL 090-8233-9172

FAX 0744-55-7975

E-mail [amaterras.j@gmail.com](mailto:amaterras.j@gmail.com)

HP <https://amaterras.grupo.jp/>



## 大和農事社

商標登録 5975086号  
大和のめぐみ



大和のめぐみ



奈良県くらし創造部景観・環境局景観  
自然環境課自然環境係  
なら生物多様性保全ネットワーク会員  
トギタニ建設 研谷誠一  
TEL 0743-67-0006  
携帯 090-3167-0595



合力ギ1本  
660円～（税込）



株式会社 井戸太

E-mail : [info@idota.co.jp](mailto:info@idota.co.jp)

Web site : <https://idota-key.com>

天理市丹波市町450

Tel : 0743-63-3311





## 【事務局だより】

2025年

5/18(日)9時 布留川清掃

5/24(土)15時 総会 (岡本環境保全基金出資者の岡本ご夫妻の感謝状贈呈及び、茶話会を開催)

5/31(土)10:00~ コフフン植栽再生ワークショップ(モンベル入口にバショウを植栽)

6/ 7(土)19:15~ ホタル観察会(市役所北側集合)

7/ 8(火) 8:30~ 丹波市小学校4年生・リバーウォッチング(約30名)

7/13(日) 9:30~ 竹コンポスト生ごみ処理講習会(小学生・保護者対象)

8/23(土) 9:00~ リバーウォッチング(奈良県「山の日 川の日」公募)



予定 9月より「まほろばエコロジー講座」を開催(天理大学、本紙に資料掲載) 環境市民ネットワーク天理 HP

11/23(祝) 落ち葉かき(親里大路周辺) 10:00~ 天理市役所・正面玄関前集合、申込 天理市環境政策課  
理事会(井戸太) 6/9(月)7/1(火)8/7(木)9/3(水)10/2(木)

「記事を募集しています」(イベント、活動紹介など) 会報投稿書式: パワーポイント(標準4:3) (フォント  
タイトル: 24 (20以上) 解説文: 14 (12以上) ・書体 タイトル: MSPゴシック 解説文: UDデジタル教科書体 ・横書き基  
本) ワード(本文、写真、図 等)での投稿も可能です。

## 「NPO法人環境市民ネットワーク天理」入会・広告のご案内

事務局 〒632-0034 天理市丹波市町451番地 中 蔦 欣 成 電話: 090-3487-9446

【年会費】1口1000円 (個人は1口以上。団体は3口以上。大学生以下は無料)

【広 告】会費5口以上、会報に広告を1年間掲載(名刺サイズ、JEPG形式、応相談)

【会費・広告料振込先】

郵便為替 00990-5-117162 NPO法人 環境市民ネットワーク天理

南都銀行 天理支店 普通口座 1081868 環境市民ネットワーク天理